

令和6年9月吉日

生徒・保護者・先生の皆様へ

都立武蔵村山高等学校  
PTA会長 中原健太

## 「茶陵際でまんじゅう2000個売れるんじゃないか」説 検証結果のご報告

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はPTAの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。早速ではありますが、第47回茶陵祭での「PTAの自由ケンキュ」の結果をご報告申し上げます。



ひとえに皆様が検証にご参加、ご協力いただいたお陰だと、PTA役員一同感謝しております。

売れるかな、売れないかな？作りすぎたかな？余って気まずい雰囲気出ちゃうかな？などとビクビクしながら当日を迎えましたが、蓋を開けてみれば10時販売開始から列が途絶えることなく、一気に売り切ることが出来ました。集客が足りなければマイクパフォーマンスでも行い「あきらめたらそこで試合終了ですよ・・・？」などと言ってみようと覚悟して練習もしていましたが、杞憂でした。

「説立証の協力に来ました！」と言ってくくださる方や、50個以上買ってくれた近隣の方も居ました。また、準備中に生徒が「えっ、テレビ来るんじゃない？」などと話している声が聞こえて、やや申し訳なさ感じたのは良い思い出です。

早々に売り切れてしまった為に、「もう売り切れちゃったの？今年は沢山あるっ

て聞いたから・・・」等のお言葉も多数いただきました。お届けが叶わなかった方には申し訳なく思っております。

また、9時には届く予定だったまんじゅうが9時55分になっても届かなかったり、田中校長先生が看板を支えるペンギンのソフビを見ながら「私こういうの大好きなんです。かわいい！」と言ってくれたり、吐き気がするほど暑い中で、井上副校長先生と近隣店舗へ事前挨拶に回ったり、書記の今井さんが、冷やしまんじゅうの看板をヒラヒラさせたいと言い出して、やたらと器用に工作を始めたり（ノッポさんか!）、副会長の寺島さんはPTAのTシャツが恥ずかしすぎて校門から出る事をためらったり（自分で蛍光ピンク選んだのに?）と、ニヤニヤしてしまう様な微笑ましいエピソードが盛り沢山でした。

その他、近くに松岡修造氏がいるのではないかと思います。残暑の中、学年委員は近隣店舗の駐車場警備を担当してくれました。灼熱の太陽にこんがり焼かれて、この世の終りのような顔をしながら、PTAブースに帰ってくる様は忘れられません。

文化厚生委員のバスボムづくりも、とても人気で早々に材料がなくなつたと聞きました。広報委員も広い校内、様々な展示を手分けして記録に収めてくれました。

意味のない事の達成のために「大人の本気をみせてやる!」という裏テーマを掲げて、高校生相手にガチでマーケティングをするという大人げない作戦を実行しながら、生徒と一緒に束の間の青春を体験し、我々にとっても、とても充実した茶陵祭となりました。

言いたいことも言えないこんな世の中じゃPOISONですが、俺は俺を騙すことなく生きてゆく、ウォッ、オ。ということで、PTAを代表して、会長からの感謝の挨拶とさせていただきます。



追伸

木住野先生、  
IWGP（キング）最高！

以上